

九州電力から学ぶ！ 日本の再エネ電力の安全性をセルビアに

セルビアの鉱物・エネルギー省の職員が九州電力で研修

国際協力機構(JICA)は2024年1月19日(金)から同年2月5日(月)まで、バルカン半島の中央部に位置する内陸国であるセルビアの鉱物・エネルギー省他の職員11名を日本に招き、電力の安全な運営・維持管理のための研修を実施します。

セルビアの国家エネルギー戦略では、2030年の風力・太陽光発電の導入目標をそれぞれ600MW・200MWとしており、これはセルビアの系統容量のおよそ10%に相当します。しかし、現在の電力システムの柔軟性が低いため、再エネをどんどん増やすと言っても、時間帯や天気、季節で変動する発電量をどうやって吸収するのかが懸念されており、脱炭素化社会の実現のための再生エネルギーの大量導入に向け、送電や配電システムの強化、電力網管理の強化などの対策が必要です。

この研修では電力システムに関する技術・ノウハウを包括的に習得し、効率的で信頼性が高い電力システムの実現と広域連系の推進を図ります。

本研修では九州電力が運用する揚水発電の「小丸川発電所」を視察します。

揚水発電所は、普通の水力発電所と同じように「水の力で水車を回して電気を作る」のですが、異なることは「発電のために使う水を汲み上げる(揚水する)」ことです。電気は貯めることが出来ないのも水の形で電気を貯える「蓄電池」のような役割を担っています。

特に揚水発電所の視察はセルビア側が切望したものです。研修員の目にはどのように映るのでしょうか？

※ 取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州センター研修業務課

TEL 093-671-8355 e-mail: Yoko.Ogawa.4@jica.go.jp

電話受付時間：午前9時30分～午後5時00分

取材可能日程

日付	時間	プログラム
2/1(木)	12:45-13:05	小丸川下部ダムへ出発
	13:05-13:35	小丸川下部ダム見学開始
	13:35-13:45	小丸川下部ダム出発
	13:45-15:15	小丸川発電所到着、見学開始
	15:15	見学終了、ピノックQパークへ移動

場所:

小丸川発電所: 宮崎県児湯郡木城町大字石河内

出典: [九州電力 小丸川発電所の概要 \(kyuden.co.jp\)](http://kyuden.co.jp)